

サービス第二部会「那覇・宮古島」視察研修会 開催



那覇商工会議所安里部会長講話

サービス第二部会（内藤昇部会長）は、去る1月21日(月)～23日(水)16名の参加者により「恵まれた自然景観や独特の文化遺産等魅力的な観光・リゾート資源を活用している沖縄県（那覇・宮古島）」を視察研修致しました。

初日は、沖縄を代表する中心都市である「那覇」を視察し、那覇商工会議所観光・サービス部会長安里政晃氏により「沖縄県のサービス業の現状と観光資源の活用等について」ご講話いただきました。

始めに「サービス業の現状と課題」では、入域観光客数が過去最高を更新する中で人手不足は深刻化しており、時給1,000円（最低賃金の130%）を提示してもなかなか求人が集まらずに非正規雇用で対応している状況にあります。

また、「観光資源の活用」では、更なる魅力ある観光メニュー開発を行い、消費額の増加への取組等入域観光客数の平準化を図る必要があると説明されました。

二日目以降は「宮古島」を視察し、最終日は宮古島商工会議所下里善盛中小企業振興課長様による「宮古島の経済と観光事業について」ご講話いただきました。

主な産業は農業から、現在は県外からの飛行機直行便の就航等、交通網の発達により豊かな自然資源を背景に観光へと移行しています。今後3年で海外の観光客が激増する様相を呈していますが、道路整備環境の不備が見られ、現在も観光バスが乗り入れる土産店も少なく、従来からの商店街との格差拡大など課題が山積しており、商工会議所の支援が急務であると結ばれました。

この研修視察を通して、観光の更なる活性化を図るために観光資源の発掘や魅力向上、内外の需要層への更なる浸透、および、その前提となる各種受け入れ施設の整備拡充を実現するなど、それぞれの実情に応じた「ソリューション」を実践していくことをミッションとして商工会議所が活躍していることを知りました。

この地域も、世界に誇れるトヨタ系企業を始めとした企業群が立地し、徳川家康ゆかりの地でもあることから、地域連携による観光振興の可能性を強く感じ、『地域ブランディング』（行政・企業・地域の有志などの働きかけによってその地域の魅力を極大化しようとする活動）と『シティプロモーション』（地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求していくこと）の重要性を強く感じることに出来た大変有意義な研修視察となりました。



宮古島にて

官民一体で人口減少対策に臨む

現在の結婚・婚姻に関する状況は、少子化による若年者の減少、生涯未婚率の上昇などを背景に婚姻件数は減少傾向にあり、出生率の低下が進んでいます。

そこで、刈谷商工会議所では、人口減少対策ひいては地域経済活性化に貢献するプロジェクトとして、刈谷市役所市民協働課、刈谷市婦人会結婚相談部と三位一体の婚活事業を実施しています。

その最大の特徴は、結婚相談部の結婚支援事業を活かしたきめ細かい支援体制と官民それぞれの強みを活かし、結婚への意識啓発から相談、交際後のフォローまで個人のニーズにあわせた継続的な支援体制にあります。

三年目を迎えた今年も、25～40歳迄の独身男女、延べ65名の参加により「結婚に近づくためにどうしたらいいか」をテーマに三回シリーズでFineメンタルカラー研究所 藤本梨恵子氏による「セミナー」と「ゲーム感覚で楽しく交流出来るランチパーティー」等を実施致しました。

第1回（8/26）は「婚活の現状、男性、女性それぞれの陥りやすい勘違い」等、自分自身を改めて見つめた後に交流会を実施しました。

第2回（10/31）は、男性が「女性との接し方について」学び、交流会では、女性が会話をリードしてくれたこともあり、明るい雰囲気になっていました。

第3回（1/27）は、参加者それぞれが「名前と印象」が一致し、終始和やかな雰囲気のなか、マッチング件数も過去最高の7組となりました。

参加者に実施したアンケートでは、「参加してよかった」「また参加したい」が7割以上あり、『今後参加してみたい企画』については、男性は「ランチコン」「バスツアー」、女性は「セミナー」「ランチコン」に人気がありました。

今後も、このような出会いの場に気軽に参加できる雰囲気作りを行い、多くの方の出会いのきっかけとなるよう「官民連携の婚活事業ならではの企画」を実施して参りたいと考えております。



藤本梨恵子氏セミナー



1.27 懇親風景